

4、戦国末期、若き藩主が築いた黒田城・城下町と背後の里山、城ヶ峰・御望山を巡る

<p>美濃 (岐阜市) 城ヶ峰 288m 石谷 254m 御望山(ごぼやま)225m 黒野城址など巡る 2月26日(土) 予備日 27日(日) アクセス: JR・名鉄・車 歩行時間 城ヶ峰〜石谷 2:30 御望山 1:00</p>	<p>JR 名鉄一宮駅西口 800 集合 ==県道 14==R157==市道==県道 77==鳥羽川==城田寺公園① (常盤ト礼の手前) :35 :30 :50 :35 —常国寺—分岐—小ピーク—△城ヶ峰—小ピーク—小ピーク—△石谷—展望岩—伊自良川 :20 30→: —里道・東へ—①==車で移動==岐北中学校東の霊園①—大岩—分岐—△御望山(往復)— ←:30 ①==於母ヶ池・深坂神社・黒野城址・専長寺・芭蕉連句碑など== ※悪天延期</p>
<p>歩°イント</p>	<p>岐阜市北部の金華山・百々ヶ峰とともに濃尾平野を囲む山々の一角、伊自良川と鳥羽川の合流点の北に広がる城ヶ峰を周回コース、車で移動して御望山ピストン。 御望山は直下を貫通する東海環状自動車道の御望山ト礼のルートめぐって、地盤が脆いとされ、地域住民の反対など議論され、話題となった。 現在ト礼工事など進行中 (大野神戸 IC〜山県 IC 間は 2024 開通を目指している) コース まず城ヶ峰へ 常盤ト礼手前の城田寺公園に 5 台ほどの駐車スペースあり。右手にある車庫・倉庫の間の階段から墓地へ上がる。登り口の看板あり。踏み跡は最初薄いがやがて明瞭になる。岩葛がゴロゴロした急登が始まる。麓から見えていた鉄塔に着。西に御望山、遠くに多度山まで見える。鉄塔を越えて巡視路 No49 を過ぎると分岐点、ここは北西方向の尾根道を直進する。樹林が険しくなってくる。小ピークを越えると城ヶ峰山頂。広い山頂であるが眺望は無い。 ここから西へ延びる尾根を歩き石谷へ向かう。快適な登山道だ。三つ目のピークが石谷山頂(三等三角点)この山頂も広い。ここから南へ下って行く。少し登り返すと展望岩に出る。大展望が広がる！ 緑のト礼を抜けていくと伊自良川沿いの道に出る。里道を東へ駐車場まで戻る。 車で移動して御望山へ 西へ向かい岐北中学校東の霊園駐車場に停めさせていただく。 神明神社(御望神社)の社の右手の階段を上がる。本殿から横に奥の院金毘羅社への登り口が登山口。社の奥へ登山道に入る。急坂を上がっていく、大岩に出ると、黒野の街、金華山・など一望の展望所。直下には於母ヶ池がメガネのよう！ 尾根に取りつくと分岐を左へ、一息歩いて山頂着、四等三角点。ここから西へ尾根道〜周回コースがあるが、今回は同じ道を戻る。 下山後は麓の黒野城址と城下町を巡る。 戦国時代末期、秀吉に仕え、美濃黒野 4 万石に移封された若き藩主 16 歳の加藤貞泰が初めて築いた黒田城を中心とした城下町を訪ね歩く。史跡城址公園 (黒野城址)・於母ヶ池・深坂神社・専長寺・芭蕉連句碑など (車で移動?)</p>
<p>持ち物</p>	<p>登山靴、防寒具、着替、雨具、昼食、飲物、非常食、帽子、手袋、マスク、・・・</p>
<p>メモ</p>	
<p>参加申し出</p>	<p>2月23日(水祝)までに申し出てください。</p>
<p>お知らせ</p>	<p>○ 3月9日(水) 月例会 16時〜 ○ 3月16日(水) 森林公園 道草ウォーキング</p>